

# 日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)

日本共産党西宮市会議員団 (2013. 2. 3 NO. 599)  
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368  
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp  
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

## 继续入居を基本に、新たな方針を！

### UR借り上げ市営住宅問題で、市長に申し入れ



申し入れを副市長に手渡す市議団と庄本地区委員長

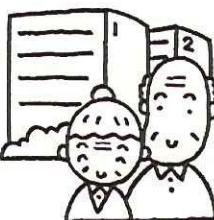
1月29日、市議団はUR（都市再生機構）借り上げ市営住宅問題で、西宮市長に申し入れを行い、当日は本井副市長、岡筋住宅部長、池井住宅建替推進課長が対応しました。

阪神淡路大震災から18年経過し、市がURから借り上げた住宅の契約期間（20年）が満了になることから、入居者に「住み替え」を求めている問題。入居者の高齢化が一層進み、「引き続き入居したい」と、運動も大きく広がってきています。

### 2013年度西宮市予算（案） 説明懇談会

2月16日（土）午前10時  
勤労青少年ホーム会議室

（勤労会館隣り）



2013年度の西宮市の予算案が14日に発表されますので、上記の通り説明懇談会を行います。

市立中央病院移転建替え問題や保育所増設、学校へのエアコン設置など意見交換も行いたいと思います。ぜひ、お誘い合わせてご参加ください。

個別に意見を聞きながら…  
ということになる  
(本井副市長)

申し入れでは、昨年末以来兵庫県や神戸市で、高齢者や障害者の継続入居を検討、また宝塚市や伊丹市では条件をつけず希望者の継続入居を認めるなどの動きがあり、西宮市としても「URからの買い上げや借り上げ延長で、継続入居を基本とする新たな方針を検討すること」を求めました。

副市長は「伊丹市とは戸数が違う。財政負担が大きすぎ、そこまではいかない」「個別に意見を聞きながらということになる」と発言。また、12月議会で市議団が追及した20年経過後退去という「入居時の事前通知」がされていなかったことについて、「当時は震災後の混乱状態があったので・・・」等、言い訳を行いました。

これに対し市議団は、「そんなことを、行政のプロとして必要な手続きを怠った理由にするのは間違い」と厳しく指摘をしました。

3月議会も間近かです。  
市議団は引き続き、入居者のみなさんと力合わせ、継続入居実現にがんばります。



市営住宅の「名義承継」問題、  
引き続き慎重に対応を！

市議団は、UR問題での申し入れとあわせ、県の住宅審議会が「県営住宅の名義承継は、配偶者に限り子どもへの名義変更は認めない」等とこのほど答申し、4月より実施することになった問題で、緊急に市営住宅の「名義承継」についても口頭で申し入れを行いました。

2005年12月26日付けで国土交通省が「入居者と非入居者の公平性から入居承継を受けられるのは、同居人の配偶者及び高齢者、障害者に限る」と通知。

市議団はそれ以降、毎年の予算要望で、「低所得者の追い出しにつながり新たな住宅困窮者を生み出すことになる。引き続き慎重に対応を」と求めてきました。

この日の申し入れでも、重ねて「慎重に」と副市長らに伝えました。